

いのち・くらし、子育て・教育を最優先に！

4月30日、安達安人党県国政対策委員長・松岡徹党県副委員長と日本共産党熊本市議団で、県に申し入れ

中学校まで、

子どもの医療費を無料に

離職や倒産が相次ぐ中、「子どもの貧困」は社会問題。学校での病気やケガに、「病院には連れていかなで」というケースもあります。

すべての子どもが安心して病院にかかれるようにするため、中学校までの子ども医療費無料化を要望しました。

国民健康保険の 無保険解消と県補助を要望！

保険料滞納の制裁措置として発行されている短期保険証の未更新による無保険が問題になり、国の是正通知が出されました。通知に基づいて「無保険解消」を指導すること、県として自治体の国民健康保険会計への補助を要望しました。

特別養護老人ホームなど、 介護の基盤整備を！

県下の特別養護老人ホーム待機者は1万人にもものぼります。施設などの介護基盤整備や地域生活に対する、自治体への県の支援を求めました。



住宅リフォーム助成制度 県として創設を！

住宅リフォーム助成制度は、現在30都道府県154自治体で実施されています。工事費の10%を補助した場合でも、助成額の10~20倍の効果額となる効果の大きい制度です。住宅リフォーム助成制度と公契約条例をつくることを求めました。

少人数学級の拡充を！

現在、県が行なっている小学校2年生までの少人数学級を拡大すれば、県下のすべての自治体で少人数学級が拡充されます。熊本市では、小4までと中1の35人学級を小中学校全学年へと広げる道筋ができます。



私学の授業料無償化へ、 県費による私学助成拡充を

熊本では、半数の子ども達が私立高校へ行かねばなりません。公立高校の授業料全額無償化に倣って、私立高校の授業料も無償となるよう、県費による私学助成拡充を要望しました。



(控室から) 益田牧子
いんやよでの休日
連休の一日、里帰りをしました。ホーホケツキヨと鶯の声が迎えてくれました。物忘れがひどくなり、ボケが始まっていた父も、元気で安心しました。介護保険の適応を受け、デイサービスに週二回通いはじめたことが良かったようです。カラオケ大会で二等になったと喜んでいました。風呂の掃除をし、近くの産直の店に買出しに出かけ、「くさび」の雑魚などを購入。「くさび」のから揚げの南蛮漬けと者魚、サツマイモと人参を千切りした天ぷらを作り、近所の魚屋で造ってもらった新鮮な刺身をメインに加え、昼食。久しぶりに、ふるさとの味を楽しみました。帰りに、両親の作った大根、スナックえんどうや漬物ももらい、ふるさとを後にしました。心にやわらかなものが広がった休日でした。いよいよ、市議会は『政令市に向けた区割り・区役所に位置』決定に向け大詰め。参議院議員選挙もあと五日余りとなりました。地域でのハンドマイク宣伝、国保料の引き下げ署名などでの対話活動に頑張りたいと思います。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 707
2010年5月9日
電話 328-2656
FAX 359-5047
メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

日本共産党市議団 2009 年度政務調査費報告

(単位：円)

| 科目 | 金額 | 備考 |
|-------|-----------|-------------------------------------|
| 調査研究費 | 84,430 | 政府交渉・行政視察(広島市・都城市) |
| 研修費 | 338,830 | 自治体研究議員研修会・議員セミナー・財政分析講座・都市再開発問題学習会 |
| 資料作成費 | 489,099 | パソコン1台・印刷トナー・登記印紙代 |
| 資料購入費 | 259,870 | 法務関係追録・書籍・新聞・ |
| 広報費 | 2,228,452 | 市議会だより(毎週発行)・特集号3回発行経費 |
| 広聴費 | 164,734 | 説明会用プロジェクター・市政懇談会16回お茶代 |
| 会議費 | 0 | 会議室は控室利用のため経費不要 |
| 人件費 | 3,036,986 | 事務局員1名給与および各種社会保険料など |
| 事務所費 | 319,488 | 機器リース・メンテナンス料・プリンター代 |
| 事務通信費 | 121,710 | FAX・インターネット・郵送料 |
| 合計 | 7,043,599 | |

残高 156,401円

* 日本共産党は、1議員当たり年240万円の交付を受けました。視察や学習会参加などの調査研究費、研修費は、議員個々に行いましたが、その他は共同で行いました。2009年度については、3名で15万6401円を返還します。

「市議会だより」発行、先進地視察など実施

日本共産党は、3人の市議と事務局員により、毎週1回の「市議会だより」や号外発行などの広聴活動を中心に行ってきました。また、先進地視察、学習会・研修会への参加、市民や団体との懇談などを通して、「政策活動」を充実し、議会活動に活かしてきました。なお、市民団体などとの懇談は、市議会内の控室を使ったため、会議費はゼロでした。

(主な政務調査活動)

- * 都城市視察:年1億円の住宅リフォーム助成制度の視察
- * 広島市視察:国保無保険問題、清掃工場建設などの視察・調査
- * 福岡県大木町視察:生ごみのバイオガス発電・液肥化など「ごみゼロ」を目指すまちづくりの視察
- * 区画整理・再開発についての全国的な学習・交流会
- * 政令市の区割り・区役所や財政問題、議会基本条例など議会改革についての学習会
- * 熊本市国保問題の資料作成と報告活動:地域や各種団体に出かけ、プロジェクターを使い、「分かりやすい」と好評です。

2009 年度政務調査費から

第3者監査制度がスタート!!

議会活性化検討委員会が4月26日開催され、熊本地裁での「政務調査費返還」(05年度分)判決の結果を受け、論議が行われました。

2009年度の政務調査費から、税理士など第3者による領収書などの監査を行うことを申し合わせました。

「不適法」とされ返還が求められた「観葉植物リース、花の苗、常備薬、ティッシュ、タオル、加湿器、水、洗剤、控室マット、後援会封筒デザイン、ケーブルテレビ」については、使途基準表に、禁止項目として明記されることになりました。日本共産党は、「市議会として、判決をしっかりと受けとめ、全員協議会での徹底すること」を求めましたが、賛同が得られず、会派で徹底することになりました。